



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2024.1.19



教育委員会だより No.150

愛村心（1尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

ブリティッシュヒルズで英語、イギリス文化を学びました

天栄村では、心豊かなたくましい子どもを育成すると共に、高い教養と国際的な視野に立つ社会人を育成することを目的に、全小学生及び中学2年生を対象に、英語をはじめとする異文化に触れる体験事業を、ブリティッシュヒルズを会場に実施しております。

1月11日（木）と12日（金）に天栄中学校の2年生が1泊2日で研修を行いました。レッスンの先生は外国人。日本語は話さず、全て英語でのやりとりということで、はじめは緊張したり不安そうにしたりしていた生徒たちでしたが、クイズやゲーム、ジェルキャンドル作り、スコーン作りを取り入れたレッスンを通して、次第に積極的に英語を話すようになってきました。1日目の夕食では、テーブルマナーについて実践を通して学びました。使い慣れないナイフとフォークに苦戦しながらも、行儀よく食事をとることができました。食事の面からもイギリス文化を知ることができました。

閉講式では、一人一人に修了証書が手渡されました。代表の生徒は、「たくさんの学びを得ることができてよかった。今後の生活に活かしていきたい。」と話していました。



第2回つなぐ教育推進会議

天栄村では、各幼稚園、小学校、中学校12年間の教育を連続的・有機的に実施し、教育効果を高めることを目的とした「つなぐ教育」を実施しています。今年度は、外国語教育を核として授業研究や研修会を実施してきました。

1月10日（水）に行われた「第2回つなぐ教育推進会議」において、今年度の成果と課題について協議しました。各園・小中学校から様々な意見が出され、今後につながる協議がなされました。

福島県教育庁県中教育事務所 竹川秀樹指導主事にも参加していただき、「幼・小・中の連携を強めていくことで、子どもたちの英語力、先生の指導力がさらに向上する」とのお話をいただきました。

今後も、天栄村の子どもたちが大きく成長していけるように、幼稚園、小学校、中学校が連携して授業改善を図ってまいります。



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○令和5年度天栄村立志式

12月19日（火）、天栄村生涯学習センターで立志式が開催され、元服の歳である14歳を迎える天栄中学校の2年生29名が式に臨みました。

式では、長場教育長から代表の吉田智晴さんに立志証書が手渡され、小針克彦教育長職務代理者からは代表の芳賀大輝さんに記念品が贈呈されました。また、立志の誓いとして数名の生徒より立志を迎えた自分に贈る言葉の発表があり、将来の目標に向けて誓いを立てました。



<立志証書の授与>

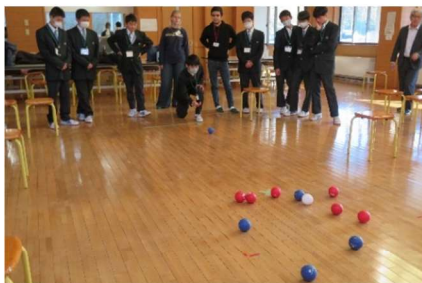


<記念品の授与>



○「つなぐ英語教育推進事業」

1月5日（木）、天栄中学校で天栄中学生徒と、早稲田大学国際教養学部の学生を中心としたサークル「セカクル」が、英語プログラムを通じた交流を行いました。参加希望者16名とセカクルメンバー7名が英語プログラムを行い、「オリンピック・パラリンピック」をテーマに英語でのクイズやボッチャの体験等を交えながら英語やSDGsについても学ぶことができました。最後は新しいスポーツを自分たちで考え、英語でプレゼンテーションを行うなど、参加した生徒は積極的に英語と触れ合うことができました。



○「新春初笑い 天栄寄席」

1月14日（日）、天栄村生涯学習センターで新春初笑い天栄寄席が行われ、須賀川市（旧岩瀬村）出身の桂幸丸さん、その弟子の桂夏丸さんによる落語、ちゅうサンによるパントマイム、宮田陽・昇さんの漫才がそれぞれ披露されました。

また、最後には出演者全員による大喜利があり、司会を務めた天栄村出身の幡谷明里アナウンサーも急遽参加して行われ、会場は終始大きな笑いに包まれていました。



<桂幸丸さんによる落語>



<ちゅうサンによるパントマイム>



<大喜利>